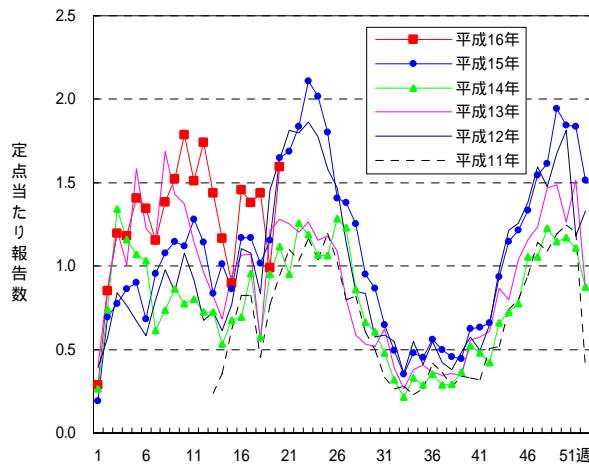
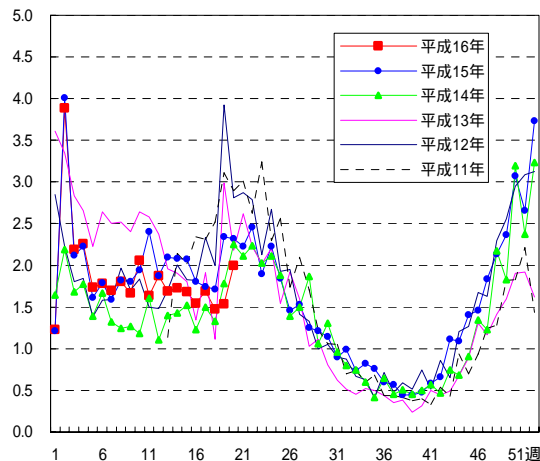


### 流行状況

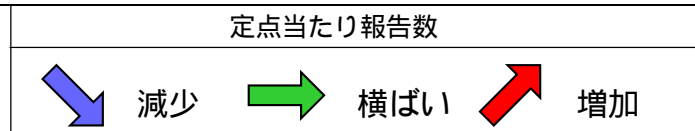
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



水痘



疾患名	前週	今週	備考
<b>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</b>	1.0 ↓	1.6 ↑	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<b>咽頭結膜熱</b>	0.26 ↓	0.23 →	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウィルス感染症
<b>水痘</b>	1.5 →	2.0 ↑	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人にうつる感染症
<b>ヘルパンギーナ 夏のウィルス感染症</b>	0.15 ↓	0.42 ↑	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍



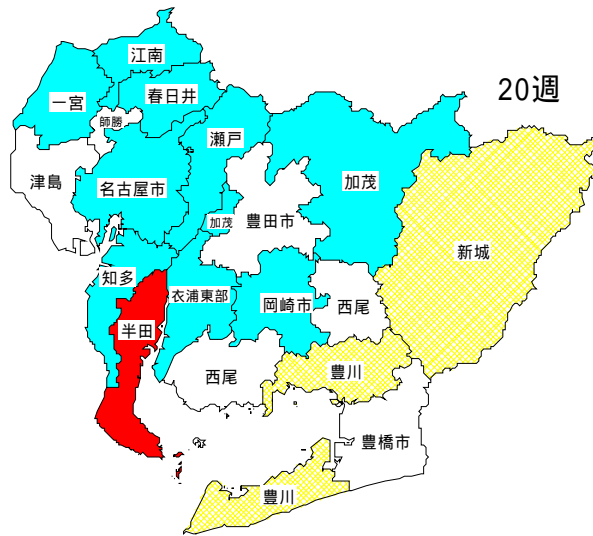
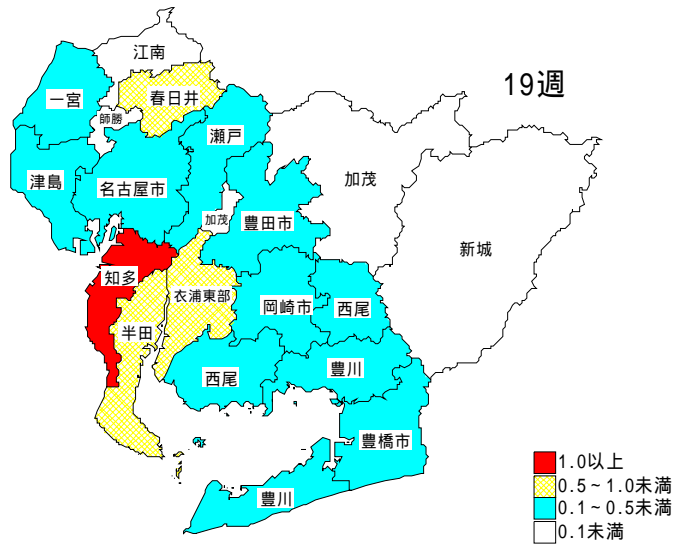
(関連リンク)

- 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)
- 予防接種について ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou\\_week.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html))
- 風疹について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/huusin.html>)
- 中国における重症急性呼吸器症候群(SARS)の発生について (<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1.html>)
- 全国状況(感染症発生動向調査週報):厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - ホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) をご覧下さい。

(作成)

愛知県感染症情報センター 連絡先:052-910-5619 E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

# 咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	20週	定点 当たり	19週	定点 当たり		20週	定点 当たり	19週	定点 当たり
名古屋市	12	0.17	9	0.13	岡崎市	1	0.14	1	0.14
瀬戸	3	0.33	2	0.22	衣浦東部	4	0.36	9	0.82
津島	0	0.00	1	0.14	西尾	0	0.00	1	0.20
師勝	0	0.00	0	0.00	豊田市	0	0.00	1	0.13
一宮	2	0.17	3	0.25	加茂	1	0.33	0	0.00
春日井	1	0.11	5	0.56	豊橋市	0	0.00	1	0.13
江南	1	0.17	0	0.00	豊川	6	0.75	3	0.38
半田	7	1.17	4	0.67	新城	1	0.50	0	0.00
知多	3	0.43	7	1.00					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

8歳女 B型インフルエンザ  
【一宮市 あさのこどもクリニック】  
マイコプラズマ感染症 1歳女  
【一宮市 後藤小児科】  
病原性大腸菌O18 10歳男、15歳男  
【尾西市 城後小児科】  
カンピロバクター 8歳男 砂場等の消毒が不十分でしょうか。  
カンピロバクター 4歳男 毎週2~3人ずつ検出されます。  
【犬山市 武内医院】

水痘、溶連菌多発しています。  
アデノ感染も続発中  
伝染性紅斑も散発中  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
水痘が増加しています。  
手足口病1名おりました。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】

### 尾張東部地区

アデノウイルス感染、肺炎を含めたマイコプラズマ感染症が多い。  
水痘、溶連菌感染症も多い。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
マイコプラズマ肺炎幼児、学童で多くみられます。  
水痘、溶連菌感染症流行みられます。  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
水痘、ムンプスの流行つづいています。  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
溶連菌感染症がなくなり、手足口病が流行しはじめました。  
【春日井市 かちがわ北病院】  
溶連菌感染増加  
マイコプラズマ肺炎少数  
【小牧市 小牧市民病院】

麻疹 1歳男 2月に予防接種済み  
水痘 4歳女 予防接種済み  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
感染性胃腸炎多いです。  
【半田市 医療法人林医院】  
流行性耳下腺炎小流行中  
【南知多町 医療法人大岩医院】  
アデノウイルス 1歳女、2歳男、2歳女、3歳男2件、4歳男、5歳男、6歳男、6歳女、9歳男  
【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】  
12歳男カンピロバクター(+) 胃腸炎流行中  
【大府市 まえはらこどもクリニック】

### 西三河地区

3歳男、5歳男、6歳女 strepA(+)  
6歳女 病原性大腸菌O1  
10歳男 カンピロバクター+病原性大腸菌O153  
4歳女 カンピロバクター  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
3歳女 異型肺炎  
【岡崎市 医療法人深田小児科】  
2歳男 流行性角結膜炎(アデノ+)  
【岡崎市 花田こどもクリニック】

11歳男 カンピロバクター  
6歳女 カンピロバクター 2人  
1歳女 病原性大腸菌O1(+) VT(-)  
1歳男 病原性大腸菌O1(+) VT(-)  
3歳男、3歳女 アデノ(+)  
2歳女 病原性大腸菌O25、O166 VT(-)、カンピロバクター  
5歳男 カンピロバクター、病原性大腸菌O1(+) VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】

3歳女 病原大腸菌O1  
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
 水痘・溶連菌感染症 増加  
 B型インフルエンザ2例（母・子です）  
 【碧南市 永井小児クリニック】  
 2歳男子 大腸菌O1 1名  
 アデノcheck陽性 3名  
 【知立市 宮谷クリニック】

チェックAD(+) 1歳女  
 【西尾市 やすい小児科】  
 アデノウイルス感染症 4歳女、5歳男  
 【幸田町 とみた小児科】  
 感染性胃腸炎、水痘が目立ちます。  
 【三好町 三好町民病院】

### 東三河地区

アデノ感染症による発熱疾患が時々あります。  
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

ロタウイルス腸炎 散発  
 【蒲郡市 蒲郡市民病院】

## 一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

### 腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	菌型等	備考
1	豊田市	2	男	5/4	5/7	5/14	O157 VT1(+) VT2(+)	
2	津島	17	女	4/28	5/1	5/8	O157 VT1(-) VT2(+)	
*	春日井	55	女	5/13	5/14	5/19	O157 VT(+)	21週 報告分

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢 2例(推定感染地域:インド1例 19週報の再掲、国内1例)  
 梅毒 1例(無症候)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

5 月病の季節です。新学期には張切っていた学生諸君のなかにいささかあてがはずれたというような表情が浮かんだり、朝晩の通勤電車で出会うお勤めの人で草臥れた顔が目立つ昨今です。いつも貴重な情報を有難うございます。5 月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは 5 月に入って感染症は全般に減少、比較的多いのは急性咽頭炎・扁桃炎、感染性胃腸炎（ロタウイルスも依然として多い）などで入院例もあり、伝染性紅斑も目立ち、マイコプラズマ感染症による入院は相変わらず、城北病院鈴木先生からはアデノウイルス感染が目立ち、ロタウイルスも時々あり、マイコプラズマの入院が目立つ、第二日赤岩佐先生からは外来で目立つものは特になく、ムンプス、アデノウイルス感染症の入院あり、三菱病院入山先生からは喘息発作で外来点滴が多かったが感染症はムンプス 2 名、B 型インフルエンザ 2 名、感染性胃腸炎 2 名（病原性大腸菌 O25、O20 各 1 名）少なく、肺炎の入院 10 数名、気管支喘息入院 4 名、B 型インフルエンザの入院 1 名、中京病院柴田先生からはムンプス、アデノウイルス感染症がパラパラ、大同病院水野先生からは高熱の続くウイルス性疾患、アデノ陽性例が続きマイコプラズマと思われる肺炎・気管支炎も相変わらず続き、風疹、ムンプス、水痘も続発中で肺炎・気管支炎による要入院例が多いが全体としては減少、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは水痘、ムンプスがそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは外来では溶連菌感染症、入院では肺炎、ロタウイルスがまだ目立つ、常滑市民病院上田先生からは水痘、感染性腸炎（脱水で要入院例あり）、溶連菌感染症、マイコプラズマを含む肺炎の入院が目立つ、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはムンプス、水痘、溶連菌感染症、インフル B、ロタウイルスが目立ちひどい咳と熱が続くウイルス感染症あり、加茂病院梶田先生からは水痘とムンプス、インフル B の小流行、アデノ感染症とマイコプラズマ肺炎がまだ多い、知立市近藤先生からは病原性大腸菌（O125）腸炎 1 例、溶連菌感染症パラパラ、高熱性感冒あり、咽頭結膜熱 2 例、刈谷市田和先生からは 3 - 5 日間くらい高熱をだす児が多く、ムンプスと水痘が少し目立ち、溶連菌感染症たまたに来院、豊橋市からはウイルス性気管支炎、ロタウイルス腸炎などいずれも少数あり（市内長屋先生、宮澤先生）、とのお手紙でした。有難うございました。

## 2004 年 4 月 23 日（79 巻 17 号）

デング熱。インドネシアの現況：04 年 1 月 1 日 - 4 月 4 日、入院例主体に 52,013 例報告（死亡 603）。全体に（特にジャカルタ地区）前年に比し死亡率は低い。インドネシアでは毎年デング熱が発生しているが本年は例年になく多発、昨年より倍増、人口周密地区のジャワ島に多く、3 月になってジャワ、バリで増加、少なかったパレンバンやアチェ地区でも発生中。血清型 3 型が主体であるが 1 型、2 型と 4 型もジャワ地区で確認されている。インドネシア保健省は疫学専門家チームによる全国調査と対策を立案、入院例への助成、地域単位の蚊対策を急いでおり WHO は検査室診断を支援中。

ポリオ根絶。ナイジェリア：世界的にポリオ根絶が進んでいるが、ナイジェリアはいまだに常在国で、03 年の野生株ポリオ報告数が 355 例（世界の野生株ポリオ報告数の 45%、アフリカ地区野生株ポリオ報告数の 80%以上）となっている。本報告は 03 年 1 月 - 04 年 3 月における実態調査のまとめであり、全国一斉接種の重要性を示している。定期接種：定期接種率の報告は州によってまちまちで全国集計結果は得られていない。全国一斉接種日活動（Supplementary immunization activities, SIAs, National immunization days, NIDs）：96 年以来 5 歳未満児を対象として SIAs を毎年実施。02 年から NIDs を開始、04 年 2 月 - 3 月には北部のカノ州以外の全国各州で NIDs 実施、03 年には常在地区の北部各州を目標に年間 7 回 NIDs が実施された。03 年の発生報告は確認野生株ポリオ患者数 355 のうち、1 型 192 例、3 型 163 例で同年の急性弛緩性麻痺患者数は 3,319 例となっている（02 年と 03 年の野生株陽性患者の分布地図あり）。野生株の伝播を断ち切るために常在地の一斉投与拡大の努力が急務である。

ニパウイルス。バングラデシュ：現在までの概要。04 年 1 月 17 日、9 歳男が発熱と神経症状で救急センター入院。死亡。1 月 17 - 21 日、さらに 7 例発病。1 キロ以内の狭い範囲に集中。1 月 22 日、WHO に支援された専門家集団による調査開始、米国 CDC での検索から特異抗体陽性、ウイルス分離陽性、核酸分析は 99 年にマレーシアで分離されたニパウイルスと 99% 一致。2 月 23 日時点で 23 例（死亡 17）。検査確認例 11。地域集積性と時期集積著明、初発例は調査の結果 1 月 11 日で殆どの（23 例中 20 例）例が 1 月 12 - 25 日に発病。多発地区（12 例発病）の調査の結果、75% が男性。マレーシアの場合と異なり豚を含む動物の病気発生は認められず、男患者達が果物を収穫していることからコウモリとの関連が示唆されている。臨床症状は発熱と急性中枢神経系合併症。4 月 19 日、同国保健省は 3 月 13 日 - 4 月 14 日の間に 30 例の集団発生を報告。死亡 18。米 CDC による確認終了。保健省は調査と対策立案中。

4 月 16 - 22 日届出。コレラ：ベニン、モザンビーク、南アフリカ、タンザニア、ザンビア。

2004年4月30日(79巻18号)

B型インフルエンザ桿菌(H i b)。バングラデシュ、インドネシア及び他のアジア諸国の状況：1月28-29日、バンコクで専門家による会議が開催され、アジア数カ国における最近のH i bの重要性に関する報告の評価とバングラデシュ、インドネシア両国におけるワクチン有効性評価結果について解析がおこなわれた。最近の中国、インド、韓国、ベトナムにおける国際協力によるWHO指針による5歳未満の検査確認H i b陽性例は、人口10万あたり10以下であった。インドでは髄液検査なしで入院する例や入院しない例が多く、ブ-タン、モルジブ、ネパ-ル、タイでもH i b感染症は過小評価されている。バングラデシュ・ダッカ地区からH i bワクチンの肺炎と髄膜炎に対する予防効果を判定する症例対照試験が実施されたが例数は少なく、検査実施数も少なく人口当りの調査はされていない。インドネシア・ロンボック地区の肺炎・化膿性髄膜炎調査では発生率が高くワクチン有効性も優秀であるが臨床診断主体であること、他地区でも応用できるかが問題となる。専門家による勧告には報告の解析は再評価が必要で、人口単位の調査や症例対照調査が必要であり、ワクチン有効性調査においても診断基準が重要である。

途上国の食品安全性：国連食品農業機構(the Food and Agriculture Organization,FAOU N)とWHOが共同で02年から準備、今回FAO/WHOが基金を設立して各国の参加を呼び掛けた。参加国の一覧表とFAO/WHOホ-ムペ-ジ番号を掲載。



愛知県感染症情報

2004年第20週(平成16年5月10日～5月16日)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	1	13	42	290	564	363	31	114	115	2	6	77	2	203	1	20	1	1	3	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	1	8	30	189	393	295	26	88	87	2	3	66	2	166	1	16	1	1	3	0	0
名古屋	70	70	11	14	1		5	12	101	171	68	5	26	28		3	11		37		4					
尾張東部	瀨戸	9	9	2	3	1		1	3	34	15		6	3					4		1					
海部津島	津島	7	7	2	2	1			8	52	12	1	2	2					5					2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			2	6	14	17		8	2					3							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		1	2	43	20	15	8	13					9							
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1			1	22	16	3	12	9		2		1	20			1	1			
	江南	6	6	1	2				1	13	32	1	6	9					2		1					
知多半島	半田	6	6	1	2	1			7	16	26		3	1			11		14							
	知多	7	7	2	2				3	10	34	1	12	5			1		15							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1			1	10	9	1	6	11			10		26		2					
	衣浦東部	11	11	2	4	1		2	4	23	10	1	6	6	1		2		21							
	西尾	5	5	1	2	1			5	7	5		5	5					15		3					
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1	2	18	52	19	2	5	5	1	1	3	1	18		5					
	加茂	3	3		1				1	4	11	1	2	1												
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1			14	27	6		5	10			23		3		3					
	豊川	9	8	1	2	1			6	6	26		2	4			16		7	1	1			1		
東三河北部	新城	2	2			1			1		2			1					4							





愛知県感染症情報

2004年第1週～第20週(平成15年12月29日～平成16年5月16日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザを除外(高病原性鳥インフルエンザ)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	187	37,023	987	4,583	21,914	6,676	281	1,368	2,088	43	60	230	30	3,101	14	608	9	5	90	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	163	29,456	795	3,356	15,447	5,480	257	1,072	1,694	38	26	193	30	2,668	10	535	9	5	88	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	24	7,567	192	1,227	6,467	1,196	24	296	394	5	34	37		433	4	73			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	28	1,855	69	398	814	274	2	83	104	7		6	1	84	1	8			1		
海部津島	7	7	2	2	1		2,036	12	103	1,717	424	4	31	61			3		90		14			32		
尾張中部	4	4	1	1			1,006		50	669	106	2	29	27					21		2					
尾張西部	16	12	3	4	1	4	2,132	83	354	1,534	496	189	40	169		1	5	1	153		13	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	13	2,832	181	404	1,110	511	9	147	154	3	2	7	2	403		17	3	4			
	6	6	1	2			1,109	53	398	1,309	376	8	64	116	2	1	2	1	126		31					
知多半島	6	6	1	2	1	5	1,060	28	204	539	172	4	67	93		1	14	1	106		1			4		
	7	7	2	2		27	1,701	64	131	1,454	479	3	159	136			5		258	2	9					
西三河南部	11	7	2	2	1	4	1,945	33	277	367	564	2	59	192	4	3	14	3	268	1	34					
	11	11	2	4	1	1	3,207	72	299	920	506	10	69	162	2	1	2	1	578		28			5		
	5	5	1	2	1	2	864	14	94	589	188		77	67			6	6	206		22					
西三河北部	8	8	2	3	1	55	2,966	69	173	1,633	463	13	100	128	18	16	6	3	235		291		1	6		
	3	3		1		2	414	16	45	319	81	4	17	21					13							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	4,202	45	271	1,611	401	4	29	153	2		100	10	61		39	5		20		
	9	8	1	2	1	19	1,964	55	154	840	416	2	100	100		1	23	1	50	6	26			19		
東三河北部	2	2			1		163	1	1	22	23	1	1	11					16							

